

# 青森市立浪岡病院改革プラン点検・評価報告

平成 22 年 10 月

青森市立浪岡病院

# 青森市立浪岡病院改革プランの点検・評価

## 1 はじめに

浪岡病院改革プランについては、総務省から示された公立病院改革ガイドラインを踏まえて、平成 21 年 3 月に策定し、青森市議会民生環境常任委員協議会及び青森市病院運営審議会に報告したところであります。

ガイドラインが示された背景には、近年、多くの公立病院において、損益収支をはじめとする経営状況が悪化するとともに、医師不足に伴い診療体制の縮小を余儀なくされるなど、その経営環境や医療提供体制の維持が極めて困難な状況になっていることがあります。

ガイドラインでは、持続可能な経営を目指した経営の効率化及び再編・ネットワーク化と経営形態の見直しを公立病院改革の視点としているほか、財務内容と医療提供内容の両面から検討を行うこととされております。

このことから、浪岡病院経営改善検討委員会において検討を重ね、現状において内部努力で実施できる項目も含め、経常利益が見込まれる平成 24 年度までを計画期間とする改革プランを策定したところであります。

また、当改革プランにつきましては、決算状況を踏まえ、毎年、点検・評価することとしておりますことから、以下点検するものであります。

## 2 改革プランの点検

### (1) 公立病院として果たすべき役割

当院は、これまでも地域に密着した病院としての役割を果たしてまいりました。

今後においても、地域住民の健康管理、疾病の治療や予防の基幹となる病院として、また、高齢者医療にも応えられる機能を果たしてまいります。

### (2) 一般会計における経費負担の考え方

一般会計における経費負担については、以下の経費を負担することとし、この考え方に沿った対応をしてまいります。

- ① 救急医療確保に要する経費
- ② 企業債元金・利息負担金
- ③ 追加費用共済費負担金
- ④ 精神病棟負担金
- ⑤ 小児医療不採算分負担金

(3) 経営効率化に係る計画

改革プランでは、平成 21 年度の経常損失を圧縮することを目指しておりましたが、前年度の赤字額をほぼ半減できたものの、目標を達成することはできませんでした。

この主な要因として、収入面においては、

- ・目標病床利用率に届かなかったこと

また、費用面においては、

- ・当初見込んでいなかった中途退職者の発生に伴い、給与費（退職給与金）が増加したこと
- ・高度な医療に対応するための高額な薬品を使用することによる薬品費等が増加したこと

などによるものと考えております。

また、看護師の欠員等により、精神病棟の看護配置を手厚くすることができませんでした。

平成 22 年度については、診療報酬のプラス改定という追い風はあるものの、公立病院を取り巻く環境は予断を許さない状況にありますので、達成できなかった項目について鋭意取り組み、計画年度である平成 24 年度までの経常収支の黒字化に向けて努力してまいります。

① 財務に係る数値目標

項 目	平成 21 年度		比 較	平成 22 年度	
	計 画	実 績			
経常収支比率	99.8%	96.3%	△3.5P	95.3%	
医業収支比率	96.2%	91.4%	△4.8P	91.8%	
職員給与比率	63.3%	68.7%	5.4P	68.5%	
病床利用率	一 般	71.1%	61.4%	△9.7P	71.1%
	精 神	60.6%	57.6%	△3.0P	60.6%
	全 体	65.5%	59.3%	△6.2P	65.5%
1 日当たり の患者数	入 院	130.3 人	118.1 人	△12.2 人	130.3 人
	外 来	237.6 人	216.6 人	△21.0 人	237.6 人
診療単価	入 院	20,151 円	20,663 円	512 円	20,589 円
	外 来	5,209 円	5,686 円	477 円	5,209 円

② 医療機能に係る数値目標

項 目	平成 21 年度		比 較	平成 22 年度
	計 画	実 績		
救急搬送件数	346 件	266 件	△80 件	346 件
平均在院日数	20 日	18.7 日	△1.3 日	20 日

③ 数値目標達成に向けての具体的な取組み及び実施時期

項 目	取組内容	平成 21 年度の取組
民間的経営手法の導入	・契約締結にあたり、可能な限り競争による入札とする。	・契約の締結にあたっては、業務内容等の検証を行った。
経費節減・抑制対策	・材料費の削減	・薬品費については、業者との値引き交渉を行い、納入価格の減額に努めたが、高度医療のため高額な薬品使用が増加した。
収入増加・確保対策	・医療費個人未収金対策  ・その他	・関係部署との連携により、不誠実な滞納者に対し督促及び医療費の請求訴訟を行った。 ・各種検診の実施により、疾病の早期発見と早期治療に努めた。

④ 各年度の収支計画  
別紙のとおり

(4) 再編・ネットワークに係る計画

青森市及び東青地区からなる青森地域保健医療圏の公立病院は、青森市民病院、青森市立浪岡病院、平内町国保平内中央病院、外ヶ浜町国保外ヶ浜中央病院のほか、三次医療を担う青森県立中央病院があります。

再編・ネットワーク化については、平成 22 年 3 月の取りまとめを目指しておりましたが、それぞれの公立病院が担ってきた役割、機能及び医療資源の配分など、行政区域を越えた検証整理が必要であること、また、青森県保健医療計画に今後の方向性が示されていることから、青森県が中心となって進めていくべきものと考えておりますが、平成 21 年度において、具体的な協議はなされておられません。

今後については、当市の医療政策を担っている健康福祉部と連携しながら、青森県において、保健医療計画をもとに環境整備に向けての協議が行われるよう要望してまいります。

(5) 経営形態見直しに係る計画

ガイドラインでは、民間的経営手法の導入を図る観点から、地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人化、指定管理者制度への移行など、経営形態の見直しも視野に入れた検討が求められております。

当院としては、青森市民病院との連携のもと、平成 23 年度末の取りまとめを目標として、あらゆる可能性を模索し、経営形態のメリット・デメリット等を引き続き検討してまいります。

### 3 自己評価

これまで述べてきたように、平成 21 年度は、目標である平成 24 年度経常収支の黒字化に向けた計画途上にあります。

平成 21 年度(から平成 22 年度)には、新たに、入院及び外来の診療単価の改善が図られたほか、外注から院内実施に移行できた検査項目があること、栄養管理実施加算体制やペースメーカー交換術が実施できる施設基準などを確保するなど、経営改善にむけた努力を重ねております。

本年 4 月の診療報酬改定は、10 年ぶりのプラス改定となりましたが、急性期の地域医療・基幹病院の経営を重点に改正されたものであるため、当院のような病床 200 床未満の病院にとっては、今回の改定による大きな影響は出にくく、依然として厳しい状況にあることには変わりありません。

今後においても、地域住民の健康管理、疾病の治療や予防の基幹となる病院として、また、高齢者医療にも応えられる機能を果たし、より良い医療の提供の実現と安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

(別紙1)

団体名 (病院名)	青森市 (浪岡病院)
--------------	---------------

## 1. 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度		22年度
					計画	実績	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,400	1,445	1,353	1,398	1,342	1,419
	(1) 料 金 収 入	1,276	1,335	1,217	1,286	1,218	1,307
	(2) そ の 他	124	110	136	112	124	112
	うち他会計負担金	100	102	107	91	94	91
	2. 医 業 外 収 益	179	131	97	90	108	89
	(1) 他会計負担金・補助金	176	129	96	88	107	88
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金						
	(3) そ の 他	3	2	1	1	1	1
	経 常 収 益 (A)	1,579	1,576	1,450	1,488	1,451	1,508
	支 出	1. 医 業 費 用 b	1,434	1,624	1,525	1,455	1,469
(1) 職 員 給 与 費 c		878	1,018	982	886	923	972
(2) 材 料 費		262	285	258	270	280	267
(3) 経 費		215	244	222	237	207	239
(4) 減 価 償 却 費		78	75	62	60	58	66
(5) そ の 他		1	2	1	2	1	2
2. 医 業 外 費 用		42	47	38	37	37	37
(1) 支 払 利 息		14	13	11	10	10	9
(2) そ の 他		28	34	27	27	27	27
経 常 費 用 (B)		1,476	1,671	1,563	1,492	1,506	1,583
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	103	▲ 95	▲ 113	▲ 4	▲ 55	▲ 75	
特 別 損 益							
1. 特 別 利 益 (D)							
2. 特 別 損 失 (E)	2	21	4	5	1	4	
特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 2	▲ 21	▲ 4	▲ 5	▲ 1	▲ 4	
純 損 益 (C)+(F)	101	▲ 116	▲ 117	▲ 9	▲ 56	▲ 79	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 215	▲ 99	18	27	83	106	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	398	335	249	257	229	260
	流 動 負 債 (イ)	88	139	175	149	166	182
	うち一時借入金			70	46	71	76
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度許可債で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引不良債務(オ) (イ)-(ア)-(ウ))	▲ 310	▲ 196	▲ 74	▲ 108	▲ 63	▲ 78	
単年度資金不足額							
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	107.0%	94.3%	92.8%	99.7%	96.3%	95.3%	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	97.6	89.0	88.7	96.1	91.4	91.8	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	62.7	70.4	72.6	63.4	68.8	68.5	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 310	▲ 196	▲ 74	▲ 108	▲ 63	▲ 78	
地方財政法上の資金不足 の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
地方公共団体の財政の健全化に関する 法律の資金不足比率							
病床利用率	一般病棟 92床	69.4	72.5	64.7	71.0	61.4	71.0
	精神病棟 107床	59.4	60.3	60.2	60.6	57.6	60.6
	病棟全体 199床	64.0	65.9	62.3	65.5	59.3	65.5

団体名 (病院名)	青森市 (浪岡病院)
--------------	---------------

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度		22年度
					計画	実績	
収	1. 企業債	20	35	19	55	55	20
	2. 他会計出資金				20	20	20
	3. 他会計負担金						
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. 工事負担金						
入	収入計 (a)	20	35	19	75	75	40
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	20	35	19	55	55	20
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	20	35	19	75	75	40
支	1. 建設改良費	20	20	18	55	56	19
	2. 企業債償還金	93	90	68	38	38	38
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他	1	1	1	3		1
出	支出計 (B)	114	111	87	96	94	58
	差引不足額 (B)-(A) (C)	94	76	68	21	19	18
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	94	76	68	21	19	18
	2. 利益剰余金処分額					6	
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
補 て ん 財 源	計 (D)	94	76	68	21	25	18
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)						
当年度許可債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)							

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度 実績	19年度 実績	20年度 実績	21年度		22年度
				計画	実績	
収益的収支	276	231	203	180	200	208
資本的収支				20	20	21
合計	276	231	203	200	220	229